

## 委員提出資料（意見、情報等）

意見 1 学童保育の基準案について

施設や設備の基準の中で、専用区画の面積が児童 1 人につき、概ね 1.65 m<sup>2</sup>とありますが、1 人当たりが生活する面積ですか？

また、40 人以上施設にいても男女トイレが 1 つしかありませんでした。夏休みなど、長期に一日過ごす場所なので、トイレはもう少しあるべきではないでしょうか。

意見 2 学童保育について

知り合いの学童に通っている保護者より聞いた話で、平日は、下校からお迎えまで、1.2 時間で利用しない日の方が多いとの事。

ただ、夏休みなどの長期休暇中に一日中留守番が困るので、やむを得ず利用している方が多いそうです。

長期休暇中のみ、預けられるようにできないでしょうかとの事です。また、長期休暇中の開所時間を、朝 7 時位からできないでしょうか。

意見 1 放課後のこどもの居場所づくりについて

前回の会議で、学童保育における児童数についてお話があり、国基準案よりも倍多い所や、倍に近いところもあり、学童保育を増やさないといけないのか？と考えさせられるところがありました。(酒田では 21 施設中 10 施設が 40 人超え)。

国は新たに 20 時間程研修を受けた子育て経験のある主婦を子育て支援員として働いてもらおうと考えているようだが、研修内容はこれから決めるということで、間に合うか分からないそうです(6/11 新聞より)

また、増やすとなれば場所の確保も必要です。

私は千葉県出身ですが、小学生の時は、学校の先生の指導による部活動をしていました。陸上、バスケット、水泳(夏のみ)、合奏などがあり、学校で放課後を過ごしていました。

また、大阪の姪子が 2 年前まで通っていた小学校では、親の就労の有無を問わず、午後 5 時まで学校の体育館を開放し、子どもが 1 人である時間を少なくしようという取組をしていました。高学年になると学童を辞める子も少なくないし、また、パートタイムで働く人達が学童に入れなくても子どもが過ごせる場所を確保できた、ということでした。

ただ無条件に開放すれば、問題点も出てくると思いますが、まずは子どもを預かれる場所はどこなのか、という所からこのような取組も参考の 1 つになると考えます。

1. 前々回意見書の積み残し分と、再質問（前回の会議で回答をいただけなかった分） ※子育て支援行動計画の後期評価（中間評価）について

【積み残し分】

- 私立幼稚園の預かり保育について、“保育所と同じような”の内容についての調査結果の説明（保育の部分の計画の有無※前々回議事録 6 p）をお願いいたします。

【再質問】

- 保育園の民間（法人）移管・民営化により生み出された財源について  
⇒本来の就学前児童のための予算が、学齢期の児童の医療費補助予算に転用されるというのは、おかしいのではないか？

《質問根拠》

- 「安心して子どもが医療機関にかかれる体制の整備」に着目し、子育て支援医療の対象拡大を段階的に実施してきました。

事業に要した経費としては、平成 24 年度は 6 歳（就学前）まで通院費無料（一部負担なし）ということで 12,500 千円を予算化、平成 25 年度は小学 3 年生まで通院費無料ということで 95,000 千円の予算化、平成 26 年度は小学 6 年生まで通院費無料ということで 50,000 千円を予算化しています。

※以上、前々回議事録 5 p より引用

⇒就学前児童の子育て支援関連費用等に、財源は充当するべきではないでしょうか。

- E X) ・公立園と民間立園とに、保育士配置基準の差異がある点の解消
- ・各園への障がい児担当職員加配配置拡充  
→方法：市による人件費面への継続的な独自助成
  - ・公立園給食材料費の不足（一般財源化、物価上昇、消費税増税による？）への財政支援→※4月の法人保育園協議会給食会議での話題から（細川氏談）

以上

H26 年度第 2 回 子ども・子育て会議に向けた意見、情報等

公益社団法人酒田青年会議所

櫛引 柳一

意見 1

今後の貧困家庭に対する学習支援について、見通しをお聴かせ願いたい。

## H26 年度第 2 回 子ども・子育て会議に向けた意見、情報等

酒田市法人保育所保護者会連絡協議会

池田 郁雄

### 意見 1 子ども支援の計画・施策をマンガ版で広報

福岡市の行財政改革プラン、岩手県矢巾町の水道ビジョン、横浜市水道局の水道の歴史、高槻市の施政方針など、全国的に、マンガ版を作成して広く周知する取り組みがみられます。

マンガは、若い世代のお父さん・お母さんにとって、気軽に読んでもらえる、親しみのある媒体だと思われます。

子育て支援の計画や具体的な施策を知ってもらうため、マンガを使った周知をご検討いただければと思います。

(誰が描くかといった問題はあると思います。

横浜市水道局は、大学の漫画研究会と連携、

福岡市は、市役所職員で漫画を趣味にしている方が描画、

矢巾町は地元出身の漫画家に発注、  
とのことです。)